

10.1 東北電力東京支社前抗議

東北電力は、女川原発 2号機の再稼動をやめろ

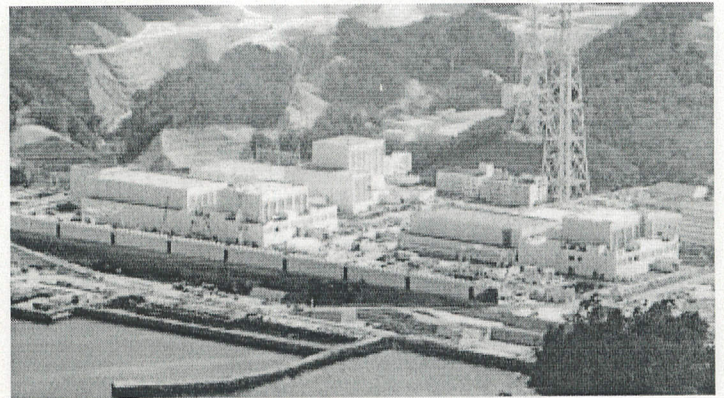
福島第1原発と同じ沸騰水型原発、初の再稼動！

3.11 闘争実行委員会 杉並区下高井戸 1-34-9 第一センター

東北電力は、11月に女川原発2号機（宮城県）の再稼動を強行しようとしています。この原発は2011年東日本大震災で被災しており、炉心溶融・爆発事故を起こした福島第1原発と同じ沸騰水型原発で初の再稼動です。

中国電力も、島根原発2号機（島根県）の再稼動を年内に予定しており、政府・電力資本はこれらを突破口として、沸騰水型原発の再稼動の道筋をつけようとしています。

しかし、福島原発事故の検証も出来ておらず、デブリの取り出しも出来ず廃炉の見通しも立たない状況



で、同型の原発を動かすことは危険が増します。

東北電力は、女川原発の再稼動をやめろ。すべての原発を今すぐ廃炉に。

労働者・地域住民の反対を封じて「地元同意」

20年2月、原子力規制委員会は、女川原発2号機について、新規制基準に適合すると認めました。そして、11月に、立地自治体の宮城県、女川町、石巻市が再稼動に「地元同意」しました。また宮城県議

会は、再稼動の是非を問うための県民投票条例案を19年、20年と二度にわたって否決しています。地域住民の判断を封じ込めて、再稼動を強行しようというのです。徹底して弾劾します。

事故が起きたら避難できない！

今年1月の能登地震により、地震・津波などを起因とする原発災害（複合災害）の危険性が再度明らかになりました。

避難する道路が寸断されて逃げることもできない、放射線を一時的に避けるとされる「屋内退避」も家屋自体が倒壊しているなど、安全に避難することが

できない状況になります。現状の避難計画はまさに「机上の空論」となっています。特に、活断層付近の原発、津波が想定される海岸線・半島部の原発は危険です。実際、東日本大震災のあと、女川原発が位置する牡鹿半島にある3本の県道は、土砂が崩れ津波に流され、復旧に何日も要しています。

沸騰水型炉で水素爆発は本当に防げるのか？

福島第1原発事故では、全電源喪失で運転中の原子炉がすべて冷却不能となって炉心溶融を起こし、その過程で1号機・3号機・4号機の原子炉建屋が爆発しました。この沸騰水型炉が爆発にいたった経過はいまだに解明されていないことが多くあります。

新規規制基準では、沸騰水型原発の水素爆発対策として、格納容器のフィルター付ベント設備や建屋最上階の触媒式水素再結合器（水素を酸素と結合させて水にする装置）の設置が義務づけられました。しかし、炉心溶融や水素ガスの発生・流出経路もわかってな

いに、ベントで都合良く水素を放出できるわけがありません。水素再結合器は、水素以外の可燃性ガスにはまったく効果がないし、水素が最上階の水素再結合器に達するまえに爆発する可能性や、過酷事故で大量発生する水素に対して処理能力が低いという問題もあります。

こうして政府・電力資本は、福島第一原発爆発事故を徹底的に検証することなく、新たな「対策」で「安全神話」を作り再稼動を強行しようとしています。

トラブル続きの女川原発

女川原発2号機では、11月の再稼動に向けてすでに9月には燃料装荷を行っています。そうした中で、原子炉建屋内ではトラブルが続出しています。

6月12日には、放射性物質の放出を伴う事故が起きた際に作動することになっている「非常用ガス処理設備」の誤作動が発生しました。9月13日にも、非常用設備の誤作動が発生しています。19日には、原子炉建屋の放射線管理区域で、制御棒を動かす水圧システムの弁から水漏れ（約4リットル）が発生しました。

21年には、硫化水素の流出により労働者7人が中

毒症状を起こした事故がおきています。

13年も動いていない、しかも被災した原発を動かして安全といえるのでしょうか？ 一つのトラブルが大事事故につながる危険性があります。地震が各地で続いており、原発の耐震性は低いままです。「想定外」は許されません。

敦賀原発は活断層の可能性で事実上廃炉となっています。東海第2原発は防潮堤欠陥工事の発覚で2年以上延期です。女川原発とともに、島根、柏崎刈羽、東海第2原発などの再稼動を阻止しよう。

原発は危険、一度の事故被害は甚大、取り返しがつかない！

国や電力会社は、「脱炭素」を名目に、偽りのグリーンエネルギーとして原発を推進しています。福島第1原発事故によって、どれだけの環境が汚染されたか、どれだけの人が健康被害にあい避難を強いられ現在も苦労していることか。原発の稼働、廃炉作業など労働者への被曝が強要されます。

そして、原発は核兵器と同じ技術で作られており、原

発の稼働はプルトニウムの発生と潜在的な核兵器保有能力の維持となります。

ウクライナの原発への砲撃は、戦時において核兵器の使用がなくとも、原発への攻撃により制御不能、原子炉の暴走、核爆発、放射能汚染の危険性があることを示しています。原発廃炉、そして核廃絶に向け、ともに闘いましょう。

【2024.10.1】

東北電力に抗議しよう！

東北電力本店 仙台市青葉区本町 1丁目 7-1 022-225-2111

東京支社 千代田区丸の内 1丁目 8-3 丸の内トラストタワー本館 8階